

認定心理士認定委員会より

1. 認定委員会について

前号は公開シンポジウムの開催案内を掲載した関係で、認定委員会の審査状況のご報告ができませんでした。そこで、今回は前号で報告できなかった分もあわせてご報告いたします。

本年度に入ってから認定委員会では、2012年4月21日、5月19日、6月23日のいずれも土曜日に3回開催されています。このうち第1回（通算131回）では、2012年3月26日までに受け付けた申請のうち617件を審査し、526件を合格、65件を保留、26件を不合格としました。第2回（通算132回）では、2012年3月31日までに受け付けた申請のうち592件を審査し、558件を合格、27件を保留、7件を不合格としました。さらに、第3回（通算133回）の委員会では、2012年5月10日までに受け付けたもののうち701件を審査し、625件を合格、60件を保留、16件を不合格としました。

さて、ここで遅ればせながら、昨年度の審査状況をまとめますと、昨年度の総審査件数は3,593件に達し、このうち3,102名を合格、114名を不合格、377名を保

留としました。なお、必要な手続きを経て資格取得した者は3,138名でした。これによって、認定心理士の総資格取得者は36,321名に達しました。

昨年度の総審査件数のうち、初回審査だったのが3,364件でしたが、これは一昨年度の3,265件を超えるものでした。私が委員長に就任して最初の執筆となる55号の本欄では、最近申請数が減少傾向にあり、申請数（初回審査件数）が3,000件を割ることが心配であると述べました。しかし、実際には、それを超える結果となり安堵しています。ただし、昨年度を100件ほど超える申請数があった背景には、特別措置（旧基準での審査）が本年の3月31日で切れるための駆け込み申請による可能性もあります。その点を考えると単純に楽観視はできません。引き続き本年の動向を見守りたいと思います。

2. 資格認定の優遇措置について

上記のような心配も背景にあり、認定委員会では資格取得者を増やすための方策について議論をしています。その方策の一環として、現在大学で心理学を教えている方にもっと資格のことを知ってもらうばかりではなく、資格を取得していただく必要があるのでは

ないか、という話が出ています。

そこでお伺いしたいのですが、今この原稿を読まれている皆さんは認定心理士の資格をお持ちでしょうか？ さらに「日本心理学会会員の優遇措置」というものがありますがご存知だったでしょうか？

これは「申請時現在まで公益社団法人日本心理学会に5年以上連続して正会員として在籍し、本務校において心理学関連科目を担当する大学等（四年制大学、短期大学、高等専門学校、専門学校）の教員」の方は、通常の資格申請とは異なり、担当している心理学関係の授業を届けるだけで、「資格審査を受け、資格認定を受けることができ」というものです。しかも、認定料30,000円は必要ですが、通常の申請にかかる審査料10,000円が免除されます。

このことは意外にも知られていないのではないかと思いますので、ここで改めてお知らせし、まだ資格を取得していない皆様にご検討を願いたい次第です。ご希望の方は、資格申請の手引き（C; 日本心理学会会員の優遇措置希望者用）を入手して、所定の書類をお送りください。

（日本心理学会認定担当常務理事・日本大学教授 山田寛）

編集後記

日本心理学会の機関誌の一つにとうとうスピリチュアリティが特集されました。編集子も驚いています。これは昨今の阿修羅像ブームに象徴されるように、心や魂という課題に人々が回帰していることと無関係ではありません。画一的な消費生活の充足に幸福を得ることはなく、あらためて自らの成り立ちと、大きな世界とのつながりを確かめたい。そのような眩しが聞こえます。心理学はこの大きな課題にどのように応えていけるのでしょうか。（森岡正芳）

編集委員（五十音順）

編集委員長
副委員長
委員

岡 隆	日本大学
宮本 聡介	明治学院大学
大神 優子	和洋女子大学
小田 浩一	東京女子大学
近藤 清美	北海道医療大学
久保南海子	愛知淑徳大学
三宮真智子	大阪大学
杉浦 義典	広島大学
杉若 弘子	同志社大学
時津 裕子	徳山大学
林 創	岡山大学
森岡 正芳	神戸大学
阿部 純一	北海道大学

担当常務理事

心理学ワールド [59号] 2012年10月15日発行

年4回発行（1月、4月、7月、10月）

発行人—佐藤 隆夫

編集・発行—公益社団法人 日本心理学会 〒113-0033 東京都文京区本郷5-23-13 田村ビル TEL 03-3814-3953

表紙デザイン—虎尾 隆 印刷・製本—銀河

制作—(株)新曜社